



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。



翔生

vol. 38

平成 16 年 3 月号

発行
全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847
<http://www.jcci.or.jp/>

編集
広報委員会
担当副会長 清水 雅文
委員長 丸山 信仁
副委員長 小鯖 利弘
委員 山本 朝孝
委員 山本 隆浩
委員 東郷 川井 真太郎
山田 英樹
清水 俊智
菊池 健二



平成 15 年度
全国商工会議所
青年部連合会長
鈴木 悦介

心からの 感謝を込めて・・・

「今こそ、こういつ時代だからこそ、YEG が出番だ!」。昨年 4 月、商青連会長としての第一歩を踏み出す時に思ったこととであります。YEG について自分なりに真剣に考え、自分なりに一所懸命活動してまいりましたこの一年間を振り返る時、今ほどその思いが強くなっている時はありません。

9 つの異なる地域がその特色を精一杯表現し、「Y」に繋がることができた 9 つのブロック大会、「全国大会米子大会」でのあの熱気、「全国会長研修会ふくい会議」の分科会での全国からの単会会長の皆さんのあの真剣な眼差し、初めての試みであった YEG ビジネスプランコンテスト、「各地 YEG の事業のデータベース化を目指す YEG 大賞」、「3 万人を繋ぐ WEB 版ビジネスネットワーク」ご縁満開 YEG ビジネスサイト、「翔生塾」等々枚挙に暇がないくらい盛りだくさんの一年でした。そのひとつひとつの場面で目撃させていただいた

YEG メンバーの皆様の真剣な眼差しと枯れることのないエネルギー。そして、「自分だけでよければ」ではなく、「自分も皆も」といつ志の高さ。少し自信を失いつつあるこの国ではありますが、我々 YEG の素晴らしい仲間が「自分から、自分らしく、皆のために」手を携えて一歩一歩前に進むことが出来れば、私は必ずこの国を夢と品格のある「美しい日本」に創り直すことが出来ると確信しております。

地域で育ち、地域を良く知り、地域を愛する若い者たちが、その地域のために役立とうと、自らの商売を通じて、自ら考え自ら行動する各地の単会、道府県連、ブロック。そしてそのサポーターたるぬとする商青連。私はこの YEG に限りない可能性を実感しています。

先輩方の大変なご努力のおかげ様で生まれ成長してきた商青連という生命体が、新しい世紀に新しい使命を得た平成 15 年度でありました。力不足の會長故、その可能性を充分には開花させることは叶いませんでしたが、YEG が本場に必要とされるこの時代に、その新たな役割を果たしていくために必要な「力」と「しくみ」という果実の種蒔きはできたのかなと自負しております。そして、それらの種のいくつかは芽吹き始めたようです。まだまだ、ささやかな、か弱い芽であります。

平成 15 年度が終わるうとして、今、商青連も新しい年度に向けて力強く胎動を始めました。その芽に陽を当て、水をやり、必要に応じて肥料もやり、花を咲かせ、そして大きな実を結ぶように大切に育てていこうという決心を胸に、その実行のための綿密な計画を携え、小園会長率いる素晴らしいスタッフの方々が勢ぞろいして、今か今かとスタートの号砲を待っています。次年度の商青連にも倍旧のご声援をいただければ幸いです。

どうか、商青連をご自分の単会、道府県連、ブロックの活動に、そしてご自分のご商売にせいぜいご活用ください。「美しい日本」の創造に向かって YEG は進化し続けます。もし使い勝手が悪いところがありましたら、ドシドシご意見をください。

最後になってしまいましたが、浅学非才の會長にお付き合いただき、そしてたくさんの励ましを、時にはお叱り、しかし、終始一貫暖かくお支えいただきました全国 401 単会、3 万人の会員の皆様に、そして身内ごとで恐縮ですが、素晴らしい平成 15 年度商青連役員の仲間に、衷心からの感謝を申し上げます。